

News Letter

2020年

7月

中国四国農政局
広島県拠点

道の駅 三矢の里 あきたかた 6月1日全面オープン!!

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開業を延期していた道の駅「三矢の里 あきたかた」（安芸高田市吉田町山手1059-1）が6月1日に全面オープンしました。広島県内では20番目、安芸高田市では2番目となります。

4月24日に先行してオープンしていた産直棟は、地元JA広島北部の生産者が新鮮な地元野菜を提供しており、鮮魚、精肉、加工品など豊富な品揃えにより地域の台所としての役割を担っています。

今後は野菜の種類に応じた調理方法なども提供したいとのこと。

道の駅の名前は、地元ゆかりの毛利元就の「三矢の訓（三子教訓状）」のエピソードが由来となっており、産直棟のほ



か、県内産の新鮮な野菜を中心とした料理を提供するファーマーズ・レストラン安芸高田などの、飲食を提供する店舗が入るレストラン棟、安芸高田市観光協会のおもてなしコンシェルジュが入る休憩情報発信棟の3棟からなる道の駅です。

オープン以来、市外からも多くの方が訪れており、農産物は夕方には品切れになることもあり、レストラン棟もお昼時には行列ができるほどで、今回県北部に初登場の高級パンも大人気です。

また、災害時には太陽光発電により充電した電気や水の供給が可能で、多機能型24時間トイレや災害ベンダー自販機も設置されており、「防災機能」を備え持つ地域活性化の拠点となる施設です。

トピックス 花は心の“#ビタミンF”

広島県内の花屋さんが、J R広島駅をはじめ、広島県庁、広島市役所、バスセンター及び合同庁舎など県内の公共施設等に花を飾りつけました。

花で街を彩る

Flower

また、花や植物がもつ笑顔を運び、人を癒してくれる力を花の“#ビタミンF”としてPOPで紹介し、花や植物のPRと需要拡大を図りました。

日本花き振興協議会は、農林水産省の事業を活用し全国7ヶ所で実施。

6月23日以降は、広島県フラワー活性化協議会が引き続き実施しています。



広島合同庁舎3号館に飾られた花

インフォメーション 農林漁業者のみなさまへ

経営継続補助金



○目的

新型コロナウイルス感染症の影響を克服するため、感染拡大防止対策を行いつつ、販路の回復・開拓、生産・販売方法の確立・転換などの経営継続に向けた農林漁業者の取組を支援します。

○対象者

農林漁業者（個人・法人）

※常時従業員が20人以下

※支援機関の支援を受けることが必要です。

○補助上限額

・単独申請 **150万円**
・グループ（共同）申請 **1,500万円**

詳しくは農林水産省HPをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/keiei/keizoku.html>



その他の新型コロナウイルス感染症の影響を受ける農林漁業者・食品関連事業者への支援策をホームページに掲載しています

http://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/support.html



◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 広島県拠点

〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎2号館6階

TEL (082)228-9676 FAX(082)228-5817 <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>